

## 令和2年度 調査業務指導者育成支援研修 実施結果について（お知らせ）

令和3年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館

当館で令和2年度に実施いたしました標記研修の実施結果について、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 研修概要

- (1) 開催日：令和3年3月16日～17日
- (2) 開催場所：オンライン（Skype）による開催
- (3) 受講証書交付人数：17名

### 2. アンケート結果

#### (1) 研修の総合評価

非常に有意義だった	10名	59%
有意義だった	7名	41%
あまり有意義でなかった	0名	0%
有意義でなかった	0名	0%

#### (2) 研修生からのコメント

- ・「調査業務指導者としての役割、検索業務に対する視点が明確になった。また有事の際のケーススタディの事例などは実務の場面においても活用できると思う。他の登録調査機関の方と討論できる場があり、検索者のマネジメント手法で参考にできるところがあり、有意義であった。」（研修全体）
- ・「適切な分類が分からない場合、クスタ検索のヒストグラム機能を使うという話は参考になりました。また動機付けで周知の技術課題を用いるという内容も参考になりました」（審査基準）
- ・「今回の例題では、構造は簡単で、狙いも明確なので組み合わせは容易と考えていたが、実際は「組合せるにあたって本当に工夫すべき点はなかったか(進捗性はないか)」をしっかり考えるべき、とのことで、動機付けの重要性・難しさを実感した。」（進捗性判断のケーススタディ）
- ・「審査室の体制、指導者に求められる能力、登録調査機関の選定における評価方法の項目については、特に指導者育成研修ならではの内容で、興味深く感じました。(略)」(指導者に求められるマネジメント)
- ・「新人の指導体制や制度の重要性、他の調査機関の方のいろいろな意見をうかがえたことが参考になりました。講師の方から特許庁の中での新人育成体制についてのお話も興味深かった。(略)」(調査業務実施者指導演習)